

”よだきい”
をしなけば
絶対覚えん！

サ責・ケアマネ
一番最初に
やるべきこと

まずこれをやれ！

 ホームケア
ひまわりメソッド

最初にやるべきこと

サービス提供責任者がまずすべきは「知識をつけること」

要は「勉強」です

- 「担当者会議のやり方」「計画書作り方」よりも先に学ぼう
- ルールを知らなければ 試合はできない
- 持ち件数が少なく 時間がある今だからこそ“学ぶ時間”を取る

ルールを知らない野球選手はいません ルールを知らなければ 観戦もできません
介護の世界も同じです 「まず知ること」
それがスタートラインです！



ありがちな落とし穴

「分かっているけど あとでいいや ...」

- 面倒で後回しにする
- 先輩や上司の“又聞き”で覚える
- 不確かな噂に振り回される

知識を“人づて”で済ませると
いつか必ず行き詰まります



サ責・ケアマネの基本業務

自分の仕事を説明できますか？

◆サービス提供責任者の主な業務

1. サービス調整
2. モニタリング
3. ケアマネへの情報提供
4. 担当者会議への出席
5. 訪問介護計画書の作成・変更・交付
6. ヘルパーへの伝達
7. 実績管理
8. 勤務割の作成
9. ヘルパーへの研修・指導
10. その他必要な業務: 身体拘束・虐待・不正・ハラスメント・事故報告・BCP対応など

◆ケアマネジャーの主な業務

1. 介護申請の援助
2. 一連のケアプラン業務(アセス・会議・プラン・モニタリング)
3. 入院・入所時の情報提供
4. その他必要な業務: 身体拘束・虐待・不正・ハラスメント・事故報告・BCP対応など

あなたはこれを 例えば テレビで説明できるレベルで理解していますか？

他人の知識で仕事していないか？

「他人からの又聞き」で済ませていませんか？

- 他事業所の噂に影響される
- 県外・他圏域のルールと混同する
- 実地指導の話題で右往左往

自分の中に「一本の芯」がないと、介護の世界では不安が尽きません



唯一の解決法



揺るがない自信を持つたった一つの方法

👉 赤本・青本を理解すること！

スピリチュアルでも 情報商材でもありません
ルールを知る人だけが 介護の現場を支配できる

例えば こういう時どうする？

例：45分未満の生活援助に 3分の移乗介助が入る場

合

あなたならどう判断しますか？

- 生活援助2？
- 身体1＋生活1？
- 有償サービス？

こうした判断を1分でできなければ、実戦では通用しません
その力をつけるには、赤本・青本しかないのです



理解すれば 世界が変わる



赤本・青本を理解すればできること

- ✓ 実地指導にビビらない
- ✓ お客様の要求に根拠をもって対応
- ✓ 意味のないケアプランを断れる
- ✓ 社内外から信頼される
- ✓ 地域・行政の会議で意見できる

ルールを理解していれば、迷いが消えます
「わからない」は最大のストレスです

できない理由を並べるな！

「読むのが苦手」

「眠くなる」

「頭いい人はいいいよね」...

——まず”ガチ”でやってみろ！

- 赤本・青本は実質 10ページていどしかない
- 1か月あれば十分理解できる
- やる前に逃げて何も変わらない

明日やっても 明日のあなたがやるのは ”今”

人間が変われるのは “今”だけです

明日やろうと思う人は、永遠に変わらない



努力の価値



知識は 使えば使うほど深まる

- 💬 一度理解したことは忘れない
- 💬 使うたびに自信になる
- 💬 あなたの中に“揺るがない軸”ができる

眠くなる人⇒

一度に全部読もうとするから
苦手なら 毎日一行だけやればいい 一行でも理解できれば それは一歩前進

自分はバカだからと思っている人⇒

バカだと思うなら いったん後先考えず “ガチ”で努力してみてもはどうでしょう？

結論



サ責・ケアマネに贈る、たった一つの真実

「赤本・青本さえ理解していれば
介護のほとんどの問題は全部解決する」

世界を変えるのは、今この瞬間に真剣になるあなたです